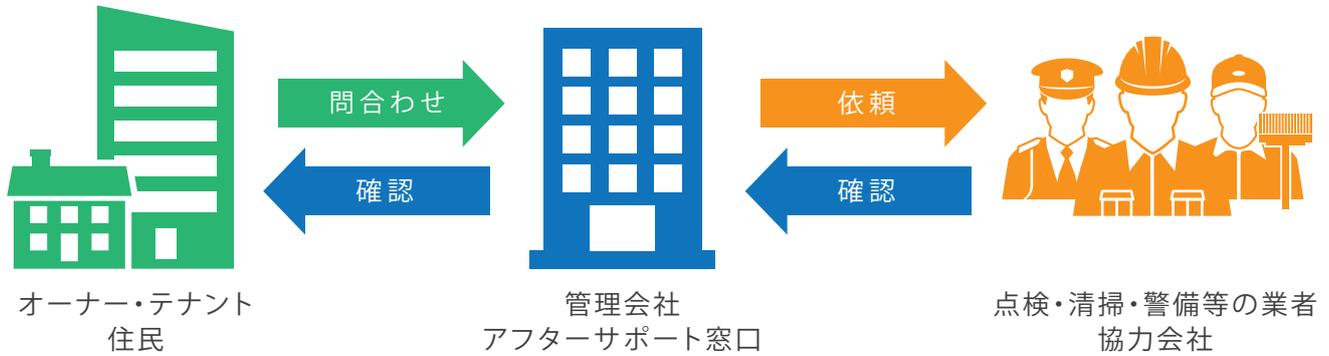


スマビルとは

建物の維持管理業務における顧客、管理会社、協力会社間の連絡をスムーズに行うためのシステムです。
スマホ、タブレット端末を活用して、情報の共有化や日程調整などが一元管理できる仕組みを実現します。



導入する目的

「対応状況の見える化」、「履歴の蓄積・検索」、「情報共有の効率化」を実現

対応状況の見える化

ビルオーナーやテナント、住民などからのお問合せや、アフターサポート窓口とのやり取り、各委託先業者への連絡通知・対応状況登録管理等をスマビルにて管理把握できます。
もちろん複数物件をまとめて一括表示・状態検索等も可能です。

履歴の蓄積・検索

修繕の履歴や対応履歴を蓄積し管理する事でビッグデータとして有効活用が可能になります。

情報共有の効率化

各案件ごとに内容や写真、動画等も確認でき、報告書も自動で作成されるため業務効率が上がります。

導入するメリット

導入前 ことある毎に各種調整、報告等のために、**管理物件20～30件へ訪問**

- ▶スマビル上で簡単な報告・調整は済ませ、管理物件への**訪問回数を極小化**
- ▶写真・動画で遠隔地でも現場状況を確認可能

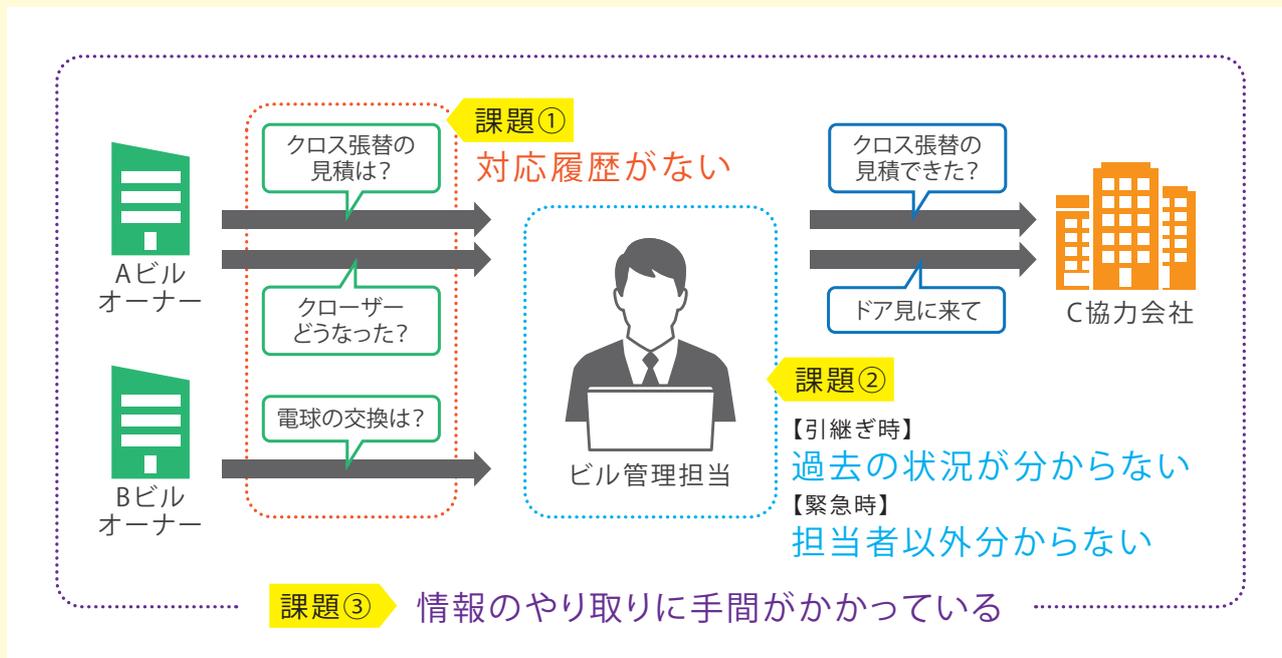
導入前 案件、業者別にバラバラ・五月雨式に、送られてくる**各種報告事項の整理が煩雑**月1回の報告書作成に追われる

- ▶運用方法(報告書アップ先、特記事項の記入先)をあらかじめ決めておくことで、**報告書を自動作成**

導入前 日々の問い合わせ・クレーム処理状況は担当者各々の管理に依存しがち**関係者間で対応状況の共有が図りづらい**

- ▶コミュニケーション・進捗を**自動記録**。アクセス権限者は**誰でも簡単に共有可能**
対応済み事項も履歴としてデータを蓄積

✓ 現状の維持管理業務の課題



✓ 導入後の維持管理業務モデル

- 煩雑な管理物件・業者ごとのやり取りをスマビルで一元化することで無駄を削減。
- 各種点検報告の案件ごとに不具合抽出、報告書作成を自動化し、業務効率アップ。
- 施設不具合は写真・動画等で共有可能。対応履歴・進捗を記録・バックデータ化。
- 本人認証もワンタイムパスワードや多段階認証によりセキュリティ確保で安心。

